

要請番号 (JL06023B17)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ネパール	C108 土壌肥料	20~45歳のみ	個別	新規	2年	・2024/3・2025/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

連邦制・総務省

2) 配属機関名 (日本語)

パンチカール市役所

3) 任地 (バグマティ州カブレパランチョーク郡パンチカール市) JICA事務所の所在地 (カトマンズ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車で約2.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

ネパールでは連邦制への移行による地方行政体の再編により、市役所が地方政府として機能している。配属先のパンチカール市役所は、総務課、会計課、収税課、都市開発課、社会開発課、環境課、農業課などのセクションから成っており、管轄地域における教育、健康、インフラ開発、徴税、衛生、農業・畜産業、社会的包摂、女性と子供支援等の機能を有する地方自治体である。農業セクションの年間予算は、約2千万円。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

パンチカール市(7村から構成)はネパールで唯一公式に農業都市として宣言された市である。首都カトマンズから45km北東に位置しており、近年の首都の人口増加の加速に伴い、カトマンズへ出荷される野菜の約30%を担うなど、野菜生産地として重要性が高まっている。一方、同市では近年、化学肥料を濫用することにより、土地のpHレベルが正常でなくなり生産能力が落ちている現象がみられ、地域住民への健康被害なども懸念されている。そのため有機栽培や土壌改良の知識を持ったJICA海外協力隊の派遣を希望している。同地域では、現地NGOのラブグリーンネパールが市行政と連携の下、IPM(Integrated Pest Management:総合的病虫害・雑草管理)農法の導入などの協力事業を実施してきており、隊員は同NGOと共に活動を進めていくことになる。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先同僚および現地NGOと協力し、土壌改良、地域野菜の生産性向上を目的とする以下の活動を主に実施する。

- 地域の土壌に関する現状の調査、および課題の抽出。
- 減化学肥料の促進やコンポスト技術の紹介等による土壌改良。
- 有機栽培を主とした栽培技術の向上。
- 配属先が行う有機農業普及プログラムに対する支援。
- 農作物の販路開拓につながる取り組み。(農産物のマーケティング、ブランディングはオプションな活動として可能であれば取り組む。)

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

土壌検査室

4) 配属先同僚及び活動対象者

上長:チーフ、男性、40代

同僚:農業オフィサー(4名、男性、女性、20代~50代、経験1~30年)

活動対象者:地域の農業従事者、農民グループ、女性グループなど

5) 活動使用言語

ネパール語

6) 生活使用言語

ネパール語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]： ()

[性別]： () 備考：

[学歴]： (大卒) 農学系 備考：土壌分析の知識が必要なため

[経験]： (実務経験) 3年以上 備考：指導的な活動のため

[参考情報]：

- ・土壌改良に関わる実務経験が必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]： (温暖冬季少雨気候) 気温： (0～35°C位) [電気]： (安定)

[通信]： (インターネット可 電話可) [水道]： (安定)

【特記事項】

参考URL: